

# 令和4年度 磐田市立南部中学校 学校評価書

各項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「思わない」の4段階でアンケートを取りました。2学期末のアンケートの回答から、各質問項目において「そう思う」及び「だいたいそう思う」と回答したものを合わせた割合を記載してあります。この結果を、来年度の教育課程編成に生かしていきたいと思えます。  
 (※昨年度よりGoogle Formsを利用し、Web上でアンケートを行いました。そのため、一昨年度以前の紙面のアンケートとは、回答の傾向が若干異なっている可能性があります。)

1 【豊かな心】 (生活部)		生徒(%)	保護者(%)	教師(%)	成果と課題(主に赤色の数値について)	御意見
1	学校が楽しいと思う。	89.9	86.7	100.0	昨年度に引き続き、全体的に高い数値を維持することができた。学校が全体的に落ち着いている様子が、数値からも読み取れる。 しかし、No.2の挨拶や返事の教師の数値については、昨年度同様に他に比べて低い値となった。コロナ禍において、元気な挨拶や返事は必ずしも推奨できるものではなく、指導に力を入れることが難しかった。一方で生徒の数値は高く、コロナ禍の困難な状況であっても挨拶や返事を大切にしようしている様子が伺える。今後も積極的に指導をしていきたい。 また、No.8の施設・設備については、来年度以降、トイレの改修などの計画がある。引き続き、生徒の気づかない細かな点にも気を配りながら、安心・安全に過ごすことができる環境整備に努めたい。	全体的に数値が高く、生徒たちに寄り添った教育が行われている成果だと感じる。 挨拶や返事について、地域での様子を見る限り、しっかりとできている印象を受ける。地域の活動などで生徒たちと接した際に、自分から挨拶をしたり、自分の意見をしっかりと伝えたりできる生徒が多く、感心させられた。大きな声で挨拶をすることも大切だが、控えめな生徒が自然と会釈をしている様子などもほめていけると良いと思う。また、教師から積極的に声をかけたり、挨拶をしたりすることで、自然と身についていくと思う。 ルールを守れている生徒が多く、良いことである。「校則の見直し」が社会で話題となっている。校則を見直していく過程では、生徒自らがルールを決めるようサポートしていくことで、「自ら守ろう」という意識を育てていきたい。
2	挨拶や返事がしっかりできる。	92.7	88.0	46.7		
3	私たちの学級(学校)は、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある。	91.0	95.1	86.2		
4	南部中に誇りを持っている。	83.6	82.8	80.0		
5	学校に相談できる人がいる。	81.7	81.9	96.7		
6	南部中学校の先生は、話を聞いてくれ、自分のことをわかってきている。(子どもを理解し、指導に当たっている)	87.4	89.6	93.4		
7	家の人とコミュニケーションがとれ、心がつながっていると思う。	88.8	92.1	93.3		
8	南部中学校の施設や設備は安心して使える。	84.1	91.5	50.0		

2 【豊かな心】 (特別活動部)		生徒(%)	保護者(%)	教師(%)	成果と課題(主に赤色の数値について)	御意見
9	生徒会活動や係活動に意欲的に取り組んでいる。	90.4	83.8	83.3	No.9、10は、校内の生徒の活動を示している。昨年度同様の高い数値から、生徒が生徒会活動や行事に熱心に取り組んでいる様子が読み取れる。 一方で、郊外での活動や学習に関わるNo.11、12は、昨年度に引き続き低い値である。コロナ禍による教育活動の制限がその要因と考えられる。あじさい学習で地域のことを学習対象とするなど、工夫をしていきたい。	近年、地域との関わりに関係する数値が低くなっている。中学生が地域の人々とともに活動する機会を、地域住民としても積極的に提供していきたい。来年度は、地域の祭典や防災訓練に、中学生が積極的に参加してくれることを願っている。また、地域の奉仕作業を学校の奉仕作業とタイアップして行うなど、地域にも学校にも生徒にもメリットのあるアイデアを、地域と学校が連携して考えていくと良いだろう。
10	躍友祭・緑友祭等の行事(練習・当日)に一生懸命に取り組んでいる。	97.4	94.4	93.3		
11	地域の行事やボランティア活動に参加している。	54.8	54.8	63.3		
12	今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。	48.8	37.8	16.6		

3 【確かな学力】 (学習部)		生徒(%)	保護者(%)	教師(%)	成果と課題(主に赤色の数値について)	御意見
13	授業の内容がよく分かる。	90.8	65.5	83.3	No.13で授業内容がよく分かる生徒が9割以上となった一方で、No.14および15の数値については、8割を下回っており、学習に対して受け身の生徒が少なくないことが読み取れる。学習のガイダンスや適切な課題の設定などについて、引き続き教員の研修に力を入れ、授業改善を図っていきたい。 No.19と20からは、昨年度から導入されたタブレットなどを、生徒たちが積極的に活用している様子が読み取れる。生徒たちはタブレットを特別なものとして扱うのではなく、「文房具」として日常的に使うことができている。教員の研修も、機器の扱い方からより効果的な活用方法に発展させ、授業改善につなげていきたい。 保護者は生徒よりも数値が低い傾向にあり、我が子の学習状況に満足できていない可能性がある。我が子への高い期待の裏返しとも読み取れる。教育面談等を通して、生徒の努力や良い点を積極的に保護者に伝え、家庭内での承認や励ましを促していきたい。	授業の内容を理解している生徒が多く安心した。引き続き、「主体的に学ぶ」生徒の育成に力を入れていただきたい。 旧来のインプット中心の教育から、アウトプット中心の教育への転換を期待している。相手に自分の考えを正確に伝えることは大変難しい。社会では簡潔にわかりやすく伝える能力が求められている。学校教育において、タブレットを使ってプレゼンテーションをしたり、人の前で話したりする機会を積極的に設けていただきたい。 タブレットなどを日常的に使っていることで、ICTの能力が大人以上に身につけてきていると思う。そのスキルを生かして、地域の情報発信をしていくなど、地域にも生徒の能力向上にもメリットのあるアイデアも考えられる。
14	授業中に先生や友達の話聞き、すすんで自分の考えを表している。	77.8	52.3	70.0		
15	すすんで先生に聞いたり自分で調べたりして学習している。	74.8	51.2	63.3		
16	ALTとの英語の授業を通して、英語への関心が高まっている。	74.3	49.9	83.3		
17	英会話の力が伸びている。ゆっくりでも英語で相手に自分の思いを伝えることができる。英語で話す相手の言葉を理解できる。	76.9	40.0	76.0		
18	あじさい学習にすすんで取り組んでいる。	89.9	60.7	76.6		
19	パソコン等を使い、自分の考えをまとめたり、伝えたりすることができる。	92.0	76.3	93.3		
20	授業や家庭学習で、タブレットやパソコンなどを使って学習に取り組んでいる。	89.7	73.6	100.0		
21	毎日家庭学習(宿題や塾での学習も含む)に取り組んでいる。	89.9	74.3	46.7		

4 【たくましい体】 (生活部<保健>)		生徒(%)	保護者(%)	教師(%)	成果と課題(主に赤色の数値について)	御意見
22	何か夢中に取り組んでいるものがある。(部活動・社会体育・習い事など)	87.0	76.0	86.7	生徒の数値は全体的に高いが、一部には生活習慣などに問題を抱えた生徒もいる。生徒一人ひとりの背景にも気を配り、家庭との連携を大切にしながら、個別の指導や支援をしていきたい。	生徒の生活習慣は、保護者の意識が変わらない限り、改善していくことが難しいと考える。引き続き生徒への指導を行うとともに、家庭に対する根気強い情報提供をお願いしたい。 給食については、withコロナの時代に対応して、「黙食」の解除も検討していけると良い。
23	規則正しい生活リズム(食事、運動、睡眠)が身についている。	79.6	73.4	60.0		
24	給食時の放送や食育指導を通して、食に関する意識が高まっている。	72.5	60.7	70.0		

5 【保護者】		生徒(%)	保護者(%)	教師(%)	成果と課題(主に赤色の数値について)	御意見
25	南部中で目指している子どもの姿や教育内容について知っている。		66.0		No.26は、昨年度に引き続き積極的な情報発信の成果が見られる。保護者との信頼関係の強化にもつながることであるため、本年度同様に取り組んでいきたい。	保護者や地域と連携した教育を進める上で、情報発信は重要である。今後も、ホームページで生徒や学校の様子を見ることを楽しみにしている。
26	南部中のホームページを見たことがある。		87.2			